総合的な学習の時間

総合的な学習の時間では、児童の興味・関心や教材の特性などを踏まえ、探究の過程に適した学習活動等を位置付けた単元デザインを工夫するなど、探究の過程の充実を図ることが大切です。

総合的な学習の時間の授業づくりのポイント

□　「三つの視点」を踏まえ構想を広げる単元デザイン

□　探究の過程に適した学習活動等を「選び、並べる」単元デザイン

参考資料
今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開
p 95～97

□　「三つの視点」を踏まえ構想を広げる単元デザイン

単元をデザインする際、どのようなことに留意する必要がありますか。

授業者が「**児童の興味・関心**」、「**教師の意図**」、「**教材の特性**」の三つの視点を踏まえて、探究の過程における児童の**学びの姿を思い描きながら**、当該単元における学習の展開を想定することが大切です。

〔**単元デザインにおける三つの視点**〕

①児童の興味・関心
各教科等や前単元までの児童の学習経験や活動の様子を想起して把握します。

②教師の意図
単元の評価規準「知識・技能」における**概念的な知識の獲得**と、「主体的に学習に取り組む態度」における**将来展望・社会参画**を意識して、具体的な児童の姿を明確にします。

③教材の特性
授業者が**ウェビング**等を活用し、主たる教材である**地域の川**を中心として、どのような対象や学習活動の**広がり**があるかを予測します。

単元名：守ろう、豊かな「地域の水源」
「令和５年度小・中学校教育課程改善の手引き」掲載事例

①児童の興味・関心

社会見学では、地域の川の水を飲料水に利用していることについて理解を深めていましたね。

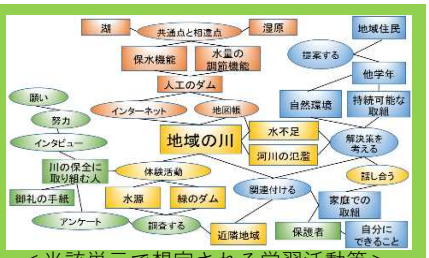
飲料水として利用するために、水質を保つことや川を保全することの大切さに気付く姿が見られていましたよ。

②教師の意図

本単元では、水源の確保と自然環境の**相互性**に気付いてほしいですね。また、**地域の環境保全に向けて、自分にできることを見付け、行動できるように**なってほしいですね。

③教材の特性

授業者が**教材の価値**を十分に理解することが大切ですね！



＜当該単元で想定される学習活動等＞

□　探究の過程に適した学習活動等を「選び、並べる」単元デザイン

単元をデザインする際、**探究の過程の充実に向けて**留意することはありますか。

ウェビング等で広げた学習活動等の中から、**最も適したものを選び**、**児童の思考の流れを想定しながら並べる**ことを通して、単元のデザインを再構成することが必要です。その際、学習活動に取り組むことが大切です。

〔**探究の過程における児童の思考**〕

【課題の設定】
中心の教材である**地域の川**との出合いから、**水不足**や**河川の氾濫**などが起こる頻度について、自分の住む地域と他地域を比較することを通して、問題状況を把握させ、「**水はどこから流れてくるのか**」「**水源に秘密があるのではないか**」という課題の発見や設定につなげることを想定しています。

【整理・分析】
考えるための技法に基づいた思考ツールを活用させながら、収集した情報の**共通点や相違点**に着目して情報を整理・分析させることを通して、人工のダムや湿原、湖が**保水機能や水量の調節機能を有している**ことへの気付きを促し、**新たな課題へつなげる**ことを想定しています。

課題の設定

地域の川
水不足
河川の氾濫
水源

浄水場では、地域の川の水を汲み取って飲料水に利用していたね。他の地域と違って、**自分たちの地域**では、過去に**水不足や川の氾濫が起こったことがない**らしいよ。

地域の川の水は、**どこから流れてくるのかな**。もしかしたら、**水源に秘密がある**かもしれないね。

情報の収集

インターネット：湖が川の水源になるらしいけど、**近くに湖があるのかな**。

地図帳：近くに**人工のダムはない**けれど、**湿原**を見付けたよ。

体験活動：学校近くの川を遡ってみたら、途中で**川が無くなった**よ。

整理・分析

共通点と相違点：調べたことの**共通点や相違点**を探ってみよう。

保水機能
水量の調節機能

人工のダム、湖、湿原は保水機能と水量調節機能を有していることが**共通している**ね。地域の川だけではなく、**他の川でも**、途中で川が無くなっているみたいだよ。

湖：大きな湖がどこかにあるはず。地域の川を遡ってみよう。

湿原：湿原の面積が大きいから、水が湧き出ているんじゃないかな。

人工のダム：秘密の人工のダムがあるはずだよ。Web で調べてみるね。

新たな情報の収集と整理・分析へ